

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月13日

島根県知事 丸山達也 殿



提出者 中国道路株式会社
住所 島根県益田市大谷町37-2
氏名 代表取締役社長 大畑 勉
電話番号 0856-22-2321

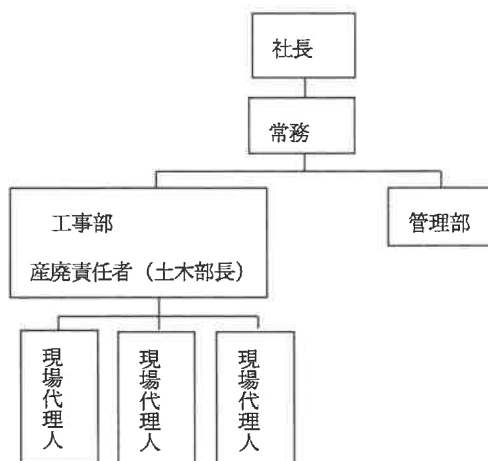
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中国道路株式会社			
事業場の所在地	島根県益田市大谷町37番地2			
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日			
当該事業場において現に行っている事業に関する事項				
① 事業の種類	総合工事業			
② 事業の規模	¥400,000,000			
② 従業員数	25人			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="1"><tr><td>中国道路 現場 コンクリート殻剥ぎ取り アスファルト殻剥ぎ取り</td><td>→ 自社運搬 →</td><td>中間処理業者 (ランドマック) 破砕</td></tr></table>	中国道路 現場 コンクリート殻剥ぎ取り アスファルト殻剥ぎ取り	→ 自社運搬 →	中間処理業者 (ランドマック) 破砕
中国道路 現場 コンクリート殻剥ぎ取り アスファルト殻剥ぎ取り	→ 自社運搬 →	中間処理業者 (ランドマック) 破砕		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	〃	
	(これまでに実施した取組) 中央混合方式から現地処理方式へ (1) 既設舗装の再生路盤化 再生路盤工・・・スタビライザー方式		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排出量	〃	
	(今後実施する予定の取組) 上記内容を実施予定。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(一) 再生路盤工 (二) 中央混合リサイクル
②計画	上記内容を実施予定。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	全処理委託量	別紙1のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	全処理委託量	別紙2のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用が可能である廃棄物は、再生利用業者へ処理委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前年度(令和5年度)実績

別紙1

産業廃棄物の種類 名称	本年度の実績状況											翌 先 による 区 分			⑩優良認定処理業者 への処理委託量(t)
	①排出量 (t)	②自ら回収 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理し 熱回収を行った量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後に再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理 自ら埋立処分又は 排入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪再生利用業者への 処理委託量(t)		⑫除取指定業者 への処理委託量(t)	⑬除取指定業者以外の 処理業者への処理委託量(t)	
											⑭再生利用業者への 処理委託量(t)	⑮除取指定業者への 処理委託量(t)			
がれき類	6094.21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6094.21	6094.21	0.0	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック	6.27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.27	6.27	0.0	0.0	0.0	0.0	
汚泥	76.78	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.78	76.78	0.0	0.0	0.0	0.0	
木くず	12.10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.10	12.10	0.0	0.0	0.0	0.0	
紙くず	0.65	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.65	0.65	0.0	0.0	0.0	0.0	
繊維くず	0.18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.18	0.18	0.0	0.0	0.0	0.0	
混合安定型	11.54	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.54	11.54	0.0	0.0	0.0	0.0	
金属くず	1.10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.10	1.10	0.0	0.0	0.0	0.0	
ガラス陶器他	0.10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.10	0.10	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産業廃棄物	0.70	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.70	0.70	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	6203.63	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6203.63	6203.63	0.0	0.0	0.0	0.0	

(令和6年度)目標

別紙2

産廃廃棄物の種類 名称	本年度の実施状況										委託先による区分			⑩廃品認定処理業者 への処理委託量(t)
	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接焼立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理し た量 (t)	⑤④のうち 焼取を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した量の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した量 (t)	⑨自ら中間処理 した量 (t)	⑩焼回取戻業者 への処理委託量(t)	⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫焼回取戻業者以外の 焼回業者への処理委託量(t)		
がれき類	3800.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3800.00	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック	10.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	
汚泥	5.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	
木くず	5.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	
紙くず	1.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	
繊維くず	1.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	
混合安定型	10.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	
金属くず	1.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.00	0.0	0.0	0.0	
ガラス陶器他	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産業廃 棄物	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	
合計	3833.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3833.00	0.0	0.0	0.0	